

新製品開発におけるフロントエンドローディング

‘新たな新製品開発の創生’

— テーマ創造 —

(株) ジョンキェルコンサルティング 落合以臣

A Front-End Loading in New Product Development

“Creation of a new product development”

-The creation of a theme-

Shigemi Ochiai, Jonquil Consulting Inc.

Keywords : 非常事態宣言・解除・欲求・事実・解消・テーマ創造・新製品

新型コロナウイルスの教訓

非常事態宣言も段階的に解除され、ほんの少しずつ人々の動きが目につくようになりました。中国武漢から発症した新型コロナウイルスは、人々を瞬間に恐怖の世界へと引きずり込み、世界経済をストップさせてしまうほどの威力でした。今後、しばらくは新型コロナウイルスの影響にさらされながら、日々を過ごすことになると言われていました。

こうした劣悪の環境の中で、非常事態宣言が出されたときは、多くの人々が在宅での仕事を強いられたと思います。この期間、ああよかったと思う人もいれば、会社に行かないと何もできなかったという人もいるでしょう。いずれの胸のうちは、欲求を発散させる方法を持ち合わせていなかったということに改めて知ったのではないのでしょうか。この現象とも呼びましようか、この事実をいざ非常事態宣言が解除され、それぞれの場へ動き始めたとき、折角、体で学んだことを忘れてしまうのではないのでしょうか。言い換えますと、新型コロナウイルスは、人類にとって種々な教訓を与えたと思いますが、そのひとつにいかにより自身の不満、欺瞞、憤りなどから起こるストレスを、どのような方法を持って解消していくのか、この点を学ぶための時間でもあったと思います。

新製品開発の創生

新型コロナウイルスの教訓を経て、新製品開発はどのように変貌するのでしょうか。今までと同様な方法を繰り返すのでしょうか。もし繰り返すことになれば、開発現場で起きていた疲弊を自ら再来させることになるわけです。そうしないためには、テーマ創造の重要性を思い起こし、5年先、10年先の世情をニュートラルな視点で垣間見て、そこから必要となる新製品の構図を引出すことが肝要になります。つまり、テーマ創造の重要性を認識することになります。

こうしたことに鑑みますと、5年先、10年先の世情はどのような方法を持ってすれば見えるのかということになります。その解答は、すでに新型コロナウイルスの発症で、我々は教えてもらったはずですが、新型コロナウイルスの影響をさけるための方法には3つありました。ひとつはマスクをする、二つ目は3密を避ける、三つ目は消毒をすることであったと思います。これをテーマとして捉えますと、ひとつ目のマスク着用は他の人につかない、二つ目の3密を避けるは人との接触を避ける、つまり集団にならない、三つ目の消毒をするは文字通り殺菌するということになります。それらの他の人につかない、集団にならない、殺菌するということに置き換えますと、大量生産で作る製品のほかに、個人の志向を生かした製品部門を作ることと考えられます。言い換えますと、テーマ創造とは「他の人につかない、集団にならない、殺菌する」ということをそのまま利用するのではなく、それらが何を訴えているのかという応用した考えが重要になります。

新世代への移行と新製品開発

人類にとって、新型コロナウイルスの挑戦を受けたという事実を踏まえ、収束した後に待ち受ける新世代の始まりと言える時を期待して、新たな気持ちで新製品開発を見直すことが重要であると思います。決して、大きなチャンスを逃してはいけないと思う次第です。